

# 1 就労支援について

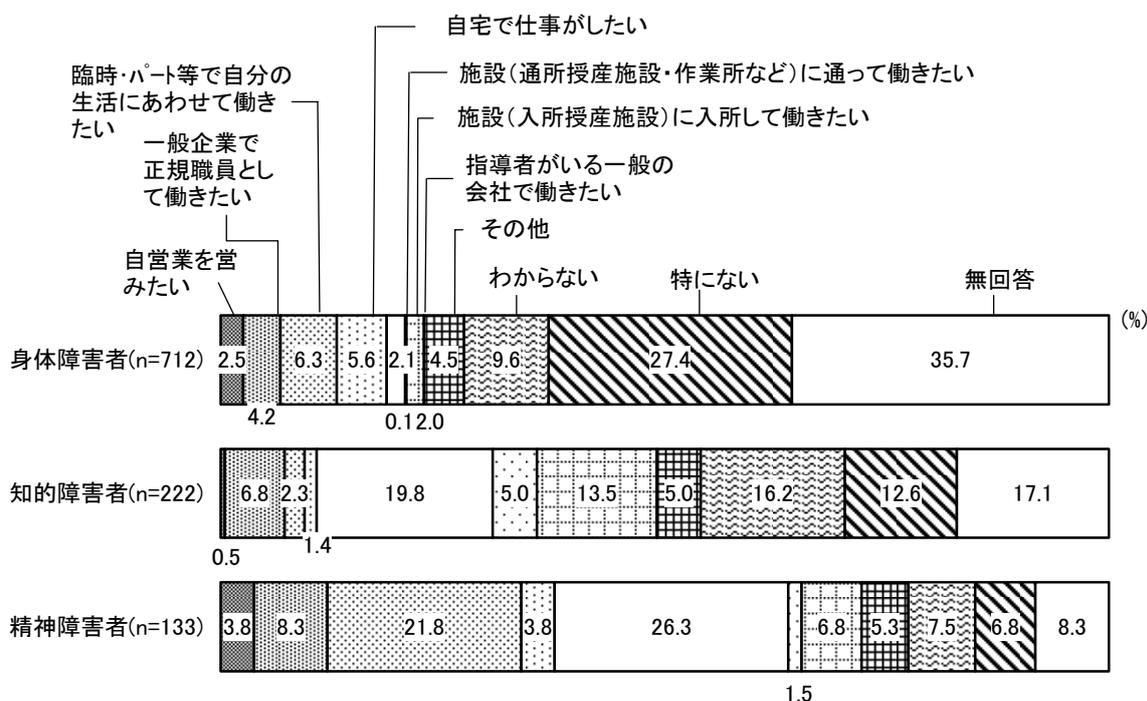
## (1) 今後希望する働き方 (問 11)

身体障害者は、「特にない」(27.4%)と「わからない」(9.6%)を合計すると4割弱になる。それ以外では、「臨時・パート等で自分の生活にあわせて」(6.3%)働きたいが最も多く、「自宅で仕事がしたい」(5.6%)が続いている。

知的障害者は、「施設(通所授産施設・作業所など)に通って働きたい」(19.8%)が最も多く、「わからない」(16.2%)、「指導者がいる一般の会社で働きたい」(13.5%)が続いている。

精神障害者は、「施設(通所授産施設・作業所など)に通って働きたい」(26.3%)が最も多く、「臨時・パート等で自分の生活にあわせて」(21.8%)が続いている。

図表 今後希望する働き方 (障害別)



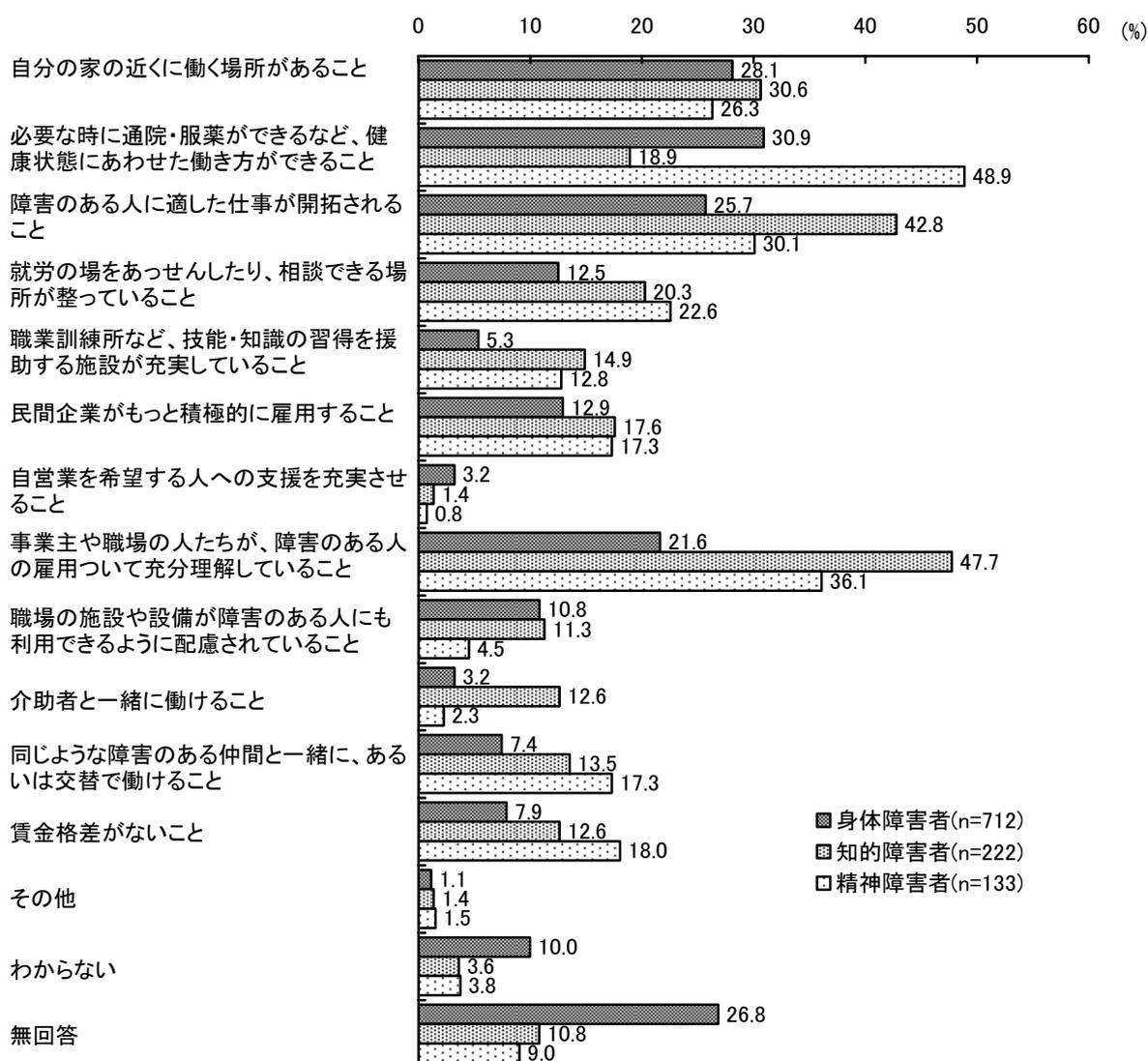
## (2) 障害のある人が働くために必要なこと (問 12)

身体障害者は、「必要な時に通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること」(30.9%)が最も高く、「自分の家の近くに働く場所があること」(28.1%)、「障害のある人に適した仕事が開拓されること」(25.7%)が続いている。

知的障害者は、「事業主や職場の人たちが、障害のある人の雇用について充分理解していること」(47.7%)が最も高く、「障害のある人に適した仕事が開拓されること」(42.8%)、「自分の家の近くに働く場所があること」(30.6%)が続いている。

精神障害者は「必要な時に通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること」(48.9%)が最も高く、「事業主や職場の人たちが、障害のある人の雇用について充分理解していること」(36.1%)、「障害のある人に適した仕事が開拓されること」(30.1%)が続いている。

図表 障害のある人が働くために必要なこと (障害別)



## 2 地域生活支援について

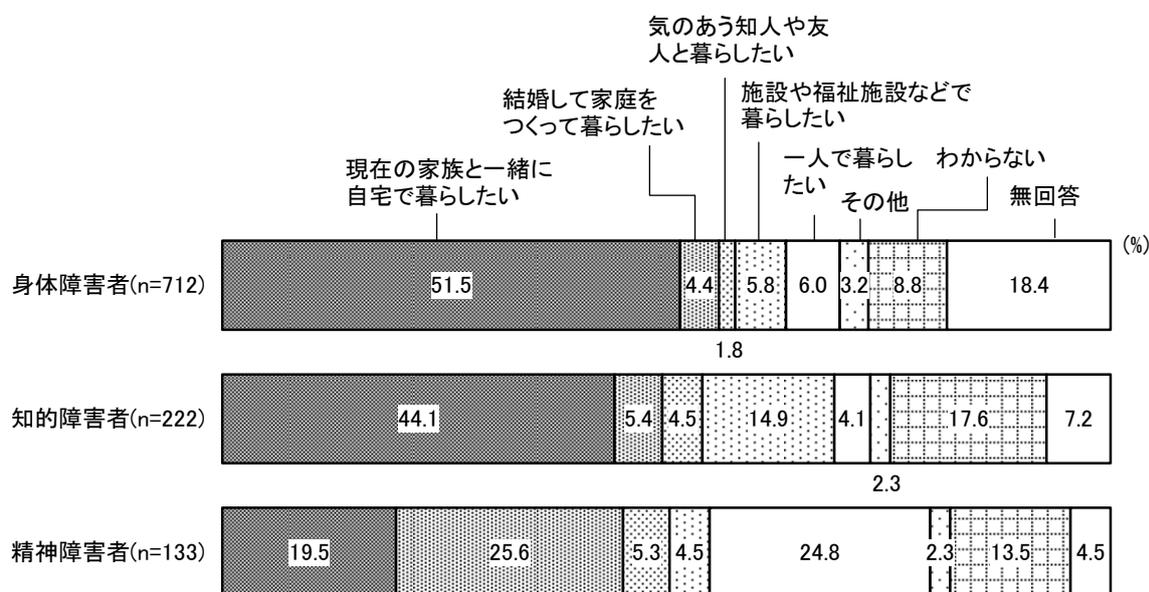
### (1) 今後希望する暮らし方 (問 14)

身体障害者は、「現在の家族と一緒に自宅で暮らしたい」(51.5%)が5割を超え最も多く、「わからない」(8.8%)、「一人で暮らしたい」(6.0%)、「施設や福祉施設などで暮らしたい」(5.8%)が続いている。

知的障害者は、「現在の家族と一緒に自宅で暮らしたい」(44.1%)が4割を超え最も多く、「わからない」(17.6%)、「施設や福祉施設などで暮らしたい」(14.9%)が続いている。

精神障害者は、「結婚して家庭をつくって暮らしたい」(25.6%)と「一人で暮らしたい」(24.8%)が同程度であり、「現在の家族と一緒に自宅で暮らしたい」(19.5%)、「わからない」(13.5%)が続いている。

図表 今後希望する暮らし方 (障害別)



### 3 障害福祉サービスについて

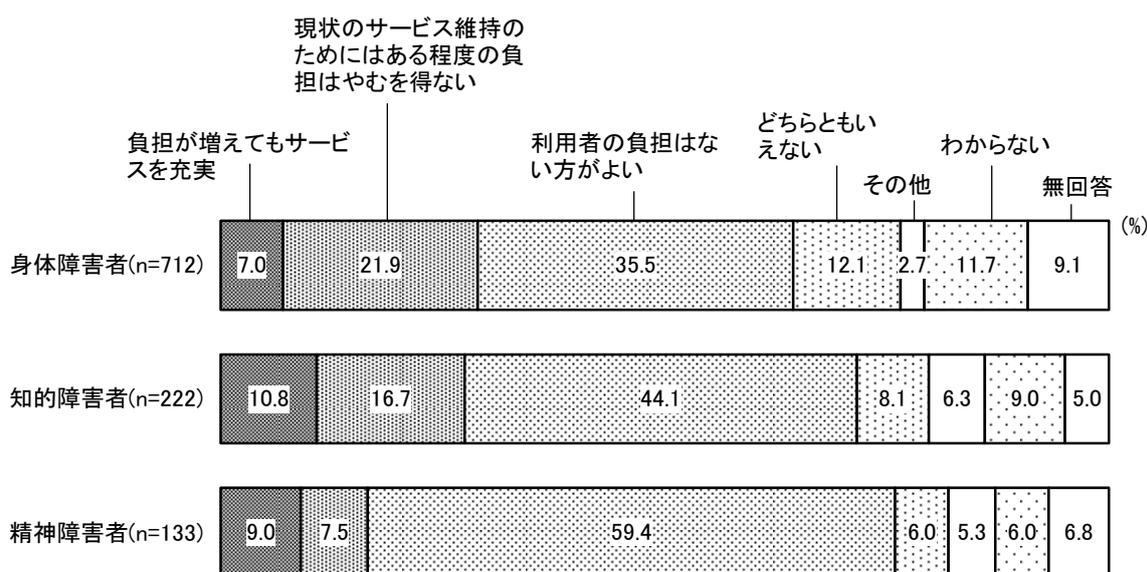
#### (1) 利用者負担についての考え方 (問 18)

身体障害者は、「利用者負担はないほうがよい」(35.5%)が最も多く、「現状のサービス維持のためにはある程度の負担はやむを得ない」(21.9%)、「どちらともいえない」(12.1%)が続いている。

知的障害者は、「利用者負担はないほうがよい」(44.1%)が最も多く、「現状のサービス維持のためにはある程度の負担はやむを得ない」(16.7%)、「負担が増えてもサービスを充実」(10.8%)が続いている。

精神障害者は、「利用者負担はないほうがよい」(59.4%)が最も多く、「負担が増えてもサービスを充実」(9.0%)、「現状のサービス維持のためにはある程度の負担はやむを得ない」(7.5%)が続いている。

図表 利用者負担についての考え方 (障害別)



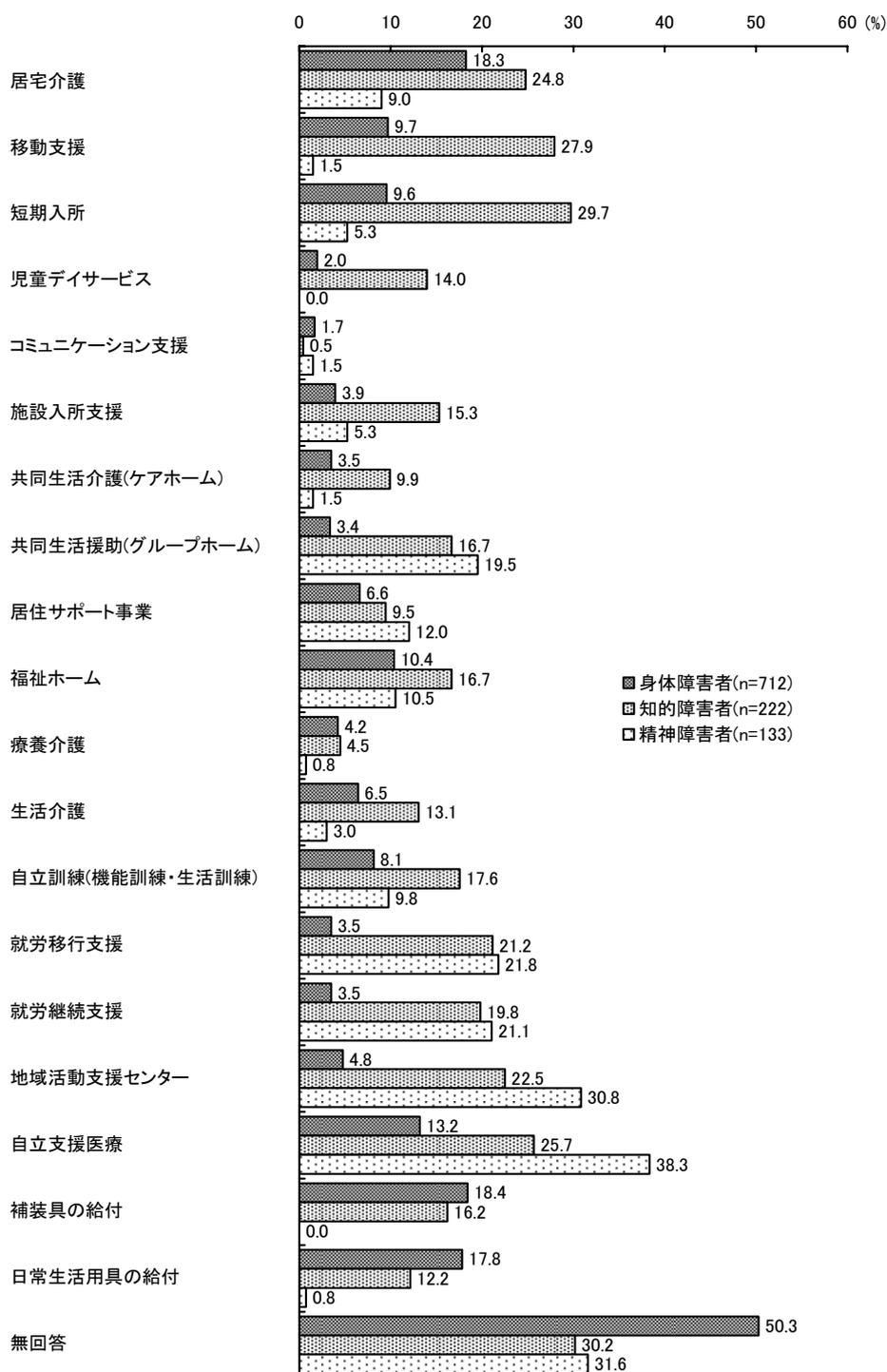
## (2) 障害福祉サービスの利用意向 (問 21)

身体障害者は、「補装具の給付」(18.4%)の利用意向が最も多く、「居宅介護」(18.3%)、「日常生活用具の給付」(17.8%)、「自立支援医療」(13.2%)、「福祉ホーム」(10.4%)が1割を超えている。

知的障害者は、「短期入所」(29.7%)の利用意向が最も多く、「移動支援」(27.9%)、「自立支援医療」(25.7%)、「居宅介護」(24.8%)、「地域活動支援センター」(22.5%)が続いている。また、「就労移行支援」(21.2%)、「就労継続支援」(19.8%)の利用意向も多い。

精神障害者は、「自立支援医療」(38.3%)の利用意向が最も高く、「地域活動支援センター」(30.8%)、「就労移行支援」(21.8%)、「就労継続支援」(21.1%)、「共同生活援助(グループホーム)」(19.5%)が続いている。

図表 障害福祉サービスの利用意向 (障害別)



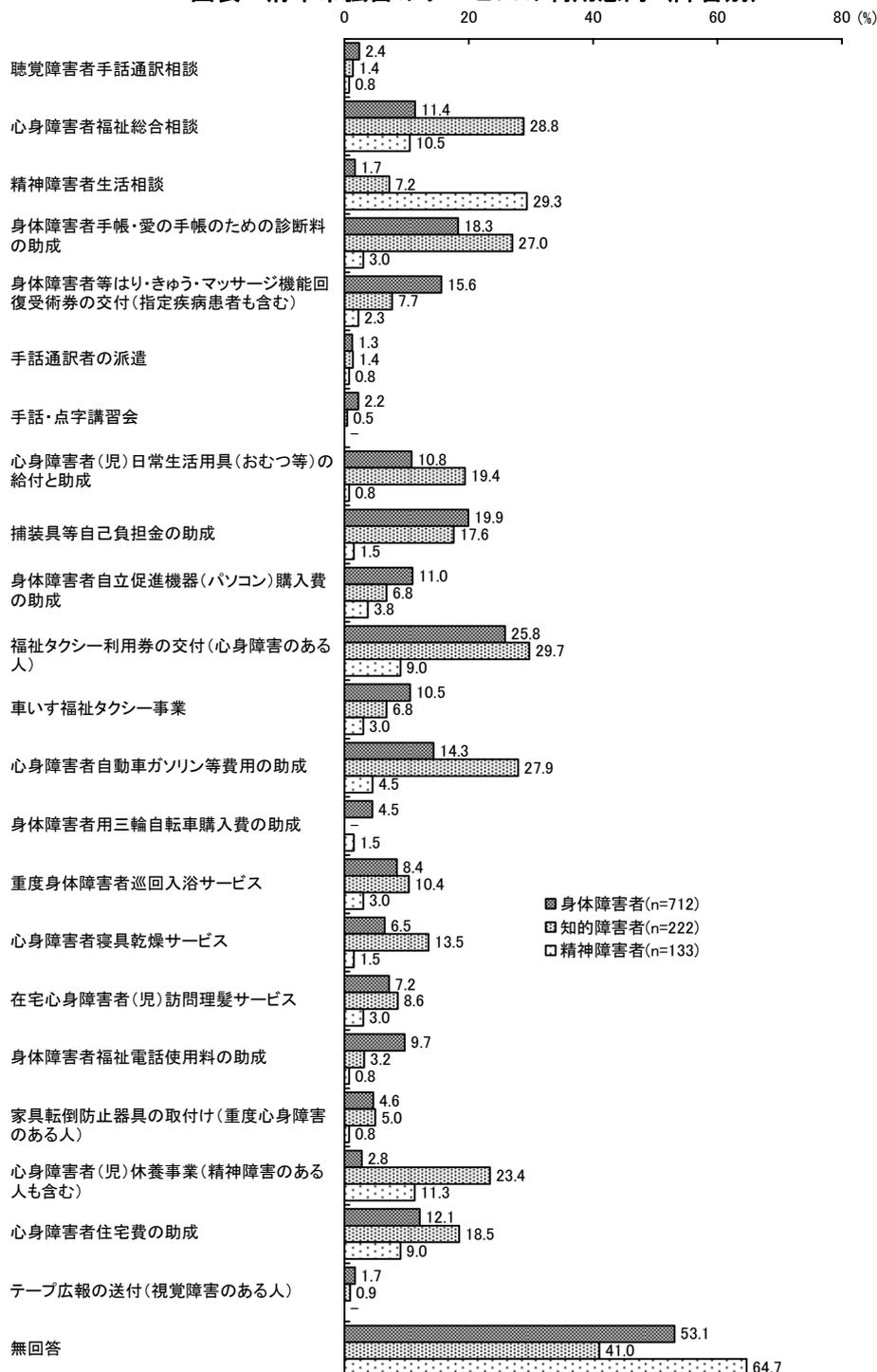
### (3) 府中市独自のサービスの利用意向 (問 22)

**身体障害者**は、「福祉タクシー券利用券の交付」(25.8%)の利用意向が最も多く、「補装具自己負担金の助成」(19.9%)、「身体障害者手帳・愛の手帳のための診断料の助成」(18.3%)が続いている。

**知的障害者**は、「福祉タクシー券利用券の交付」(29.7%)の利用意向が最も多く、「心身障害者福祉総合相談」(28.8%)が続いている。また、利用状況に比べて、「心身障害者(児)休養事業」(23.4%)、「心身障害者住宅費の助成」(18.5%)の利用意向が多い。

**精神障害者**は、「精神障害者生活相談」(29.3%)の利用意向が最も多く、「心身障害者(児)休養事業」(11.3%)、「心身障害者福祉総合相談」(10.5%)が続いている。

図表 府中市独自のサービスの利用意向 (障害別)



## 4 障害福祉計画について

### (1) 障害福祉計画策定にあたって充実すること (問 24)

身体障害者は、「各種相談事業を充実すること」(33.3%)と「障害のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること」(32.4%)が3割を超え、多くなっている。

知的障害者は、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(50.9%)が最も多く、「障害のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること」(37.4%)、「権利を守るための制度を充実すること」(32.4%)、「グループホームを充実すること」(31.1%)が続いている。

精神障害者は、「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(55.6%)が最も多く、「障害のある人が住宅を確保しやすくなるように図ること」(44.4%)、「各種相談事業を充実すること」(42.9%)が続いている。

図表 障害福祉計画策定にあたって充実すること (障害別)

